

練磨の成果を競う

郡消防団ポンプ操法大会

昭和五十年年度、西浦原郡消防団 果次のおり入賞が決まりました。ポンプ操法競技大会は、八月四日午前八時から、月鴻中学校グラウンドを会場に、郡内各町村から選抜された精鋭を集めて開催されました。

大会の参加者は、選手五十五名、各町村消防関係者や応援団約百二十名で、大会会場は異様な熱気がみなぎり、午前八時三十分の開会式では消防協会支会長のあいさつ、月鴻村長のあいさつ、白根警察長の祝辞などのあと、参加選手を代表して本村消防団の萩原総一選手の「選手宣誓」で緊張の度は、最高潮に達しました。

本村消防団も健闘しましたが、入賞できませんでした。しかし、審査長(藤宮白根地区消防署長)の講評にもありましたが、参加チームの差は、きわめて僅少であり、高潮に達しました。



競技は、九時三十分から中ノ口村から始まり、郡内十一町村を代表する選手たちにより、競技が行なわれましたが、厳正な審査の結果

来年度の健闘が期待されます。なお、この大会で一位となった鴻東村消防団は八月二十四日に上越市で開催される県大会に出場しますが、声援を送りましょう。



「これら若者は、スピードとスキルを求めて暴走し、あげくはシナナー遊び、暴力行為、不純異性交遊などの非行をくり返して社会秩序を乱しています。」

暴走族をなくそう

みなさんは、「暴走族」という言葉を知っていますか？

最近、白根警察署管内でも、土曜日の夜を中心に「將軍」とか「ブラック・エンベラー」とか「新鴻観音」「狼」などという、ステッカーをつけたオートバイや自動車にのった若者が集まり、騒音をまき散らしながら「暴走」するの、多くの人が迷惑しています。

これらの若者は、スピードとスキルを求めて暴走し、あげくはシナナー遊び、暴力行為、不純異性交遊などの非行をくり返して社会秩序を乱しています。

暴走族として、警察の取締りをうけた若者の家庭に連絡すると、保護者の大半が「うちの子に限って」「オートバイに乗ることも知らなかった」「毎夜遅くまで勉強

にビッタリ合うジャンパーを着たり、トンボ眼鏡をかけたたりする。これらの暴走族は、思想的な背景をもった極右(左)や暴力を前提とする鉄則にしばられている暴力団とは異なり、自動車を動かすこと、を一つの楽しみにする、いわば純真無垢な青少年が、車を通じて結ばれ、夜間、特定の場所集合する、という場合が多いようである。

ですから、それぞれの家庭でこれらの若者と話し合える暖かい場を作って、このような集団に入らせないよう、お互いが注意しましょう。

又、暴走行為をしたり、暴走族と思われるステッカーのちよう付した車や、服装をみたらお互いに連絡しあい、又は警察に通報するなどの連帯責任性で、暴走族をなくしましょう。

あなたは大丈夫？

交通法令講習会実施

最近における交通事故は、昨年一ケ年は減少の傾向にあったものが、本年に入ってから、また増加の一途をたどり、交通戦争は、ますます激化しています。

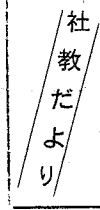


本村でも、同様な傾向となっており憂慮されております。

このため、村交通安全対策協議会と交通安全協会月鴻支部では、ドライバーの再教育により、この事態から脱却をはかるため、去る八月三日に月寿荘を会場に「交通法令講習会」を開催しました。

講習会は午前九時から十一時三十分までの予定でしたが、講師の白根警察所伊藤交通課長殿のユーモラスな講義に十二時までの講演は爆笑をさそい、本当に有意義に終り、受講者は「きてよかった」と喜んで帰られました。

なお、この講習会は、免許証更新講習もかねており、免許証の有効期限が十一月二日までの受講者には「講習済証明書」が交付されました。この証明書を免許証の更新時に申請書に添付すれば更新が行なわれます。



スポーツ少年団合宿

去る七月二十八日から三十一日の二泊三日、浦浜中学校を会場に四〇数人が参加し、スポーツ少年団合宿を行い、心配した事故もなく二泊三日の全日程を終了しました。合宿当日三、四日前の子供達の楽しそうな計画、さて当日出発時はその間も前から待つ子供、この気持ちも前もも育てあげたいと思われました。

時の講習は受けなくともよいことになっていきます。今回の更新講習該当者は二十三名、その他一般受講者は二十六名の合計四十九名でした。

なお、この講習会は、今後三ヶ月に一回位の開催を予定していますので、多数参加されるよう、お願い致します。

い団体生活をどのように受けとめたいかはわかりませんが、一人一人が責任を持ち、行動していたら家庭の皆さんに見せたかったと思えました。

青少年健全育成の講演を聞く

去る七月二十七日月寿荘を会場に青少年健全育成を、どのように進めるべきかを、新潟県民生部青少年福祉課山崎先生、白根警察交通課長を迎え、「健全家庭と子供」と題し講演を願った。

先ほど新聞、テレビに報道された、赤魚川の非行事件、又暴走族についてのおそろしさ等実例をもつて話された。その中で私共が感じた事は、決して遠いものでなく、西浦原郡内の高校から七月にかけ、これらのような事件があったが、たまたまテレビ、新聞に報道されなかったというだけで、安心しておられる状況ではない。非行少年を育てて見ると、以前は低年齢化したが、現在においてはそのうち中流家庭に広がってきておられます。



青少年が育成されると信じます。行政機関ではいろいろ総合計画を立てておられますが、皆さんの協力が得られなければ計画倒れとなりますので、御協力をお願いいたします。

愛の献血 ありがとうございます

献血思想も年ごとに普及し、さる七月五日の献血車「ゆらあひ号」が来村したとき献血下さった方々は厚くお礼申し上げます。おかげ様で、目を上回る献血をいただき、日赤血液センターから感謝の言葉があります。

部 落 別	献 血 者 数
大別当	一八
月 鴻	八四
西 登 場	一六
上 曲 通	一〇
下 曲 通	九
東 長 島	二
木 津	二
釣 寄	一
約 寄	一
他 村 分	一
合 計	一八四

保育料改定

七月一日から

国でしめす昭和五十年年度分保育料徴収基準額が平均十三%上昇しましたことから当然所得税、村民所得が確定したので、国と同程度の増徴をもとに各々の階層区分を検討し七月分保育料から改訂しました。

所得が増大しても、基礎控除額の増額で実質所得の減少で各階層区分も落ち、村の保育料全保の収入はあまり差がありません。前年度保育料の最高額三才以上の場合六千五百円を七月分から七千円に改訂しました。園児がよることで食べる給食と健全で明るい保育につとめる所存であります。